

国 語

注 意

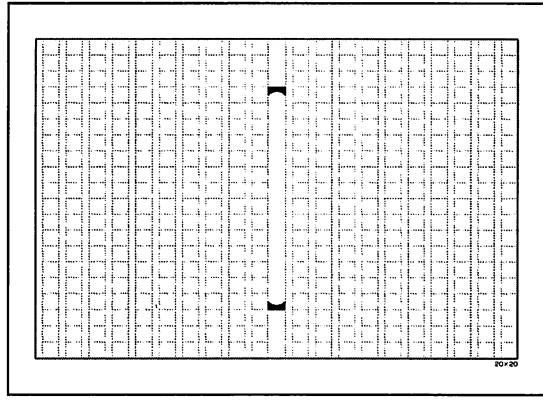
- 1 問題の①は放送による検査です。問題用紙は放送による指示があるまで開いてはいけません。
- 2 問題用紙は表紙を入れて十ページあり、これとは別に解答用紙が一枚あります。
- 3 受検番号は、検査開始後、解答用紙の決められた欄に記入しなさい。
- 4 机の上には、受検票・えんぴつ・シャープペンシル・消しゴム・えんぴつけずり以外の物を置いてはいけません。
- 5 筆記用具の貸し借りはいけません。
- 6 問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 7 印刷が悪くて分からないときや、筆記用具を落としたときなどは、黙って手をあげなさい。
- 8 監督者の「やめ」という合図ですぐにやめなさい。

答えの書き方

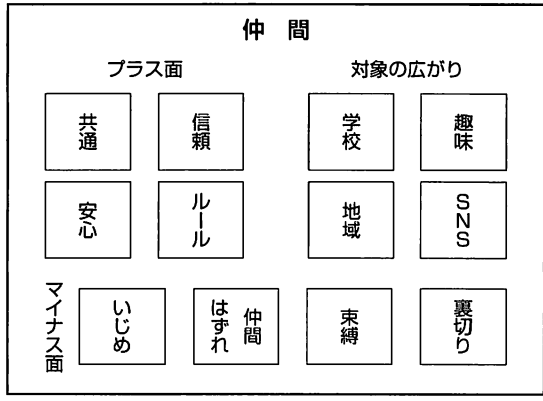
- 1 答えは、問題の指示に従って、すべて解答用紙に記入しなさい。
- 2 答えは、いねいに書きなさい。答えを書き直すときは、きれいに消してから書きなさい。
- 3 答えを漢字で書く場合は、楷書かいしょで書きなさい。

1 (放送による検査) (12点)

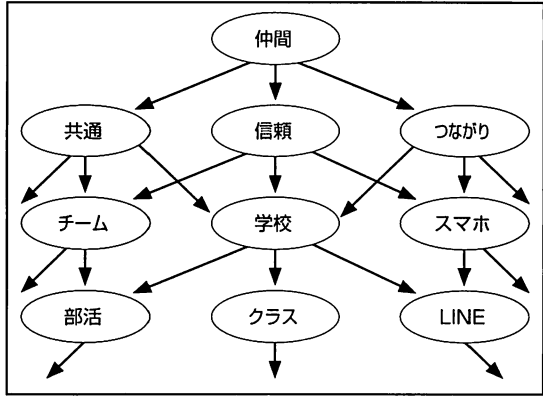
資料1



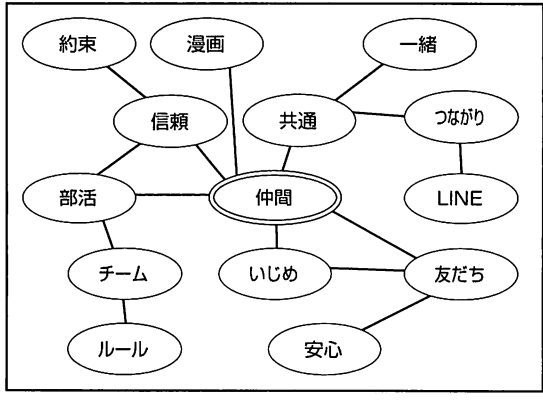
資料2



資料3



資料4



2

次の(1)、(2)に答えなさい。(14点)

(1) 次のア～オの――の漢字の読みがなを書きなさい。また、カ～コ
の――のカタカナの部分を書き改めなさい。

ア 条約を締結した。

イ ノーベル賞の榮譽に輝く。

ウ 素晴らしい結果に驚嘆した。

エ 私語は慎みなさい。

オ 彼女を会長に推す。

カ ハケン社員として働く。

キ 多キノウの新商品を買う。

ク できるだけジスイして生活する。

ケ たくさんお金をためる。

コ 津軽の名所をメぐる旅。

(2) 次のア、イの――のカタカナの部分を書き改めなさい。また、その漢字と
同じ漢字が使われている熟語を、それぞれあとの1～4の中から一つ
ずつ選び、その番号を書きなさい。

ア あまりにも難しい課題でさじを上げてしまった。

- 1 投票 2 無休 3 殴打 4 逃亡

イ 幸と不幸は表裏一体である。

- 1 理由 2 別離 3 裏目 4 利益

3

次の文章を読んで、後の(1)～(5)に答えなさい。(14点)

清滝や浪に塵なき夏の月

芭蕉

先師、難波の病床に予を召してはく、「頃日園女がかたにて、」白菊の

目たてて見る塵もなし』と作す。過ぎしころの句に似たれば、清滝の句

を案じ替へたり。初めの草稿、野明がかたにあるらん。取つて破るべし』

となり。しかれども、はや集々にもれ出ではべれば、捨つるに及ばず。

名人の句に心を用ひたまふこと知らるべし。

——「去来抄」より——

- (注) 先師……「亡き師」の意。ここでは芭蕉を指す。
- (注) 予……「私」の意。ここでは作者(去来)を指す。
- (注) 園女……俳人。
- (注) 野明……俳人。

(1) 本文中の句には、切れ字が使われています。句の中から一字でそのまま抜き出して書きなさい。

(2) 召してはくとありますが、すべてひらがなで現代かなづかいに書き改めなさい。

(3) 取つて破るべしとありますが、なぜ破れと言つのですか。十五字以内で書きなさい。

(4) 捨つるに及ばずとありますが、主語は誰ですか。次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 芭蕉
- 2 去来
- 3 園女
- 4 野明

(5) 次に示すのは、四人の生徒が本文の内容について話し合っている場面です。本文の趣旨と異なる発言を、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 生徒A——芭蕉は病氣の時でも句の推敲に励んでいたんだね。
- 2 生徒B——そんな芭蕉に振り回されて、周りは大変そうだよ。
- 3 生徒C——でも、大変というよりも感動が上回ったんじゃないかな。
- 4 生徒D——名人の、その句にかける情熱を知って欲しいのかな。

4

次の文章を読んで、あとの(1)～(4)に答えなさい。(25点)

著作権の都合により省略

著作権の都合により省略

——養老孟司『いちばん大事なこと』より——

(1) おそらく¹、かならず²、とりあえず³、そついう⁴ の中で、品詞が他
と異なるものを一つ選び、その番号を書きなさい。

(2) ある生徒が、この文章中の人々に求められる性格と理由について、次の表のようにまとめました。A、B、Cに入る適切な内容を、Aは十一字、Bは四字、Cは八字で、それぞれ本文中からそのまま抜き出して書きなさい。

人	求められる性格	理由
昔の人	努力・辛抱・根性	自然に付き合う必要があったから。
都会に住む若者	頭の回転の速さが利くこと 上手に言葉が扱えること	身の回りに自然があるわけではないから。 Bとして、その重要性を認識しているから。
医学部の学生	C	医学は人体という自然を扱うから。

(3) 医学は人体という自然を扱う。とありますが、筆者が人体を自然と同じだととらえているのは、人体のどのような点からですか。この文章の内容をもとに、五十字以内で書きなさい。

(4) そこ^①とありますが、何を指しますか。二十字以内で書きなさい。

5

次の文章を読んで、あとの(1)～(6)に答えなさい。(26点)

著作権の都合により省略

著作権の都合により省略

——上原隆「友がみな我よのえらく見える日は」より——

(注) 登校拒否：現在でいう「不登校」。二〇〇〇年頃に学校現場では名称が変更されたが、一九九〇年代は「登校拒否」の方がまだ一般的だった。

(1) 友がみなわれよりえらく見ゆる日よ花を買ひ来て妻としたしむの短歌はどのような意味ですか。最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 友人たちがどんどん偉い役職に出世していつて喜ばしいため、花束を買って込んで妻と盛大に、親しみを込めてお祝いをしようという気持ち。
- 2 周囲の友人たちがどんどん偉くなっていくが、自分自身も高い地位にあるので、余裕を見せつけるために花束を買って訪ねてみようという気持ち。
- 3 どうにもならない不運や劣等感に人はおそわれるときがあり、そのときは周囲の友人がとても優れているように見え、せめて身内の妻と親しむことで心を慰めようという気持ち。
- 4 友人たちが出世して偉くなっていくある日にとてもきれいでかわいい花を見つけ、妻と花の美しさを共有しようと思ひ、買っていかうとする気持ち。

(2) 休み時間、カズくんはみんなに囲まれた。謝れというのだ。とありますが、どんなことを謝れといわれているのですか、本文中の言葉を用いて三十字以内で書きなさい。

(3) 池に手をつっこみ、底に沈んでいる石を取り出すように、次のA、Bに答えなさい。

A 用いられている表現技法として最も適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 比喩法
- 2 体言止め
- 3 反復法
- 4 倒置法

B なぜこのように言葉を探すのですか。説明として適切なものを、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 まず思い出す必要があるのか考えてしまうから。
- 2 思い出したくないものを無理に思い出そうとしているから。
- 3 ずいぶん以前のことなので、思い出すのに時間がかかるから。
- 4 何を答えたらいいいのか、目的がわからないから。

(4) それとありますが、「中川くん」のどんな性質を指していますか。本文中から十五字以内でそのまま抜き出して書きなさい。

- (5) ④ 「学校に来なかったくせに、同窓会に来るなんて図々しい、そういうられるんじゃないか」について次のようにまとめました。□に入る最も適切な語句を、次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

マンガのセリフは主人公の被害妄想のように思えるが、現実の世界で世の中の□を経験した「カズくん」にとっては、バカバカしいものとは思えず、深く心が傷ついた原因にもなっている。

- 1 理不尽 2 未完成 3 非常識 4 無意味

- (6) ④ ただし、テーブルの上に広げたマンガの下書きだけが白く光っていた。とありますが、これが象徴するものとして最も適切なものを次の1～4の中から一つ選び、その番号を書きなさい。

- 1 辺りが暗闇のなかでの明るい希望
2 辺りが暗闇のなかでのさらなる絶望
3 辺りが暗闇のなかでの心に残る美しさ
4 辺りが暗闇のなかでのただ一つの頼れるもの

6

次の資料を見て、あとの(1)～(3)に従って文章を書きなさい。(10点)

著作権の都合により省略

- (1) 題名を書かないこと。
(2) 二段落構成とし、第一段落では資料1、2を見て気づいたことを書き、第二段落では、そのことに対する自分の意見を書くこと。
(3) 百五十文字以上、二百文字以内で書くこと。

受 検 番 号

令和一年度 柴田学園高等学校入学者選抜学力検査

国 語 解 答 用 紙

6										5					4				3			2			1		
										(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)	(3)	(2)	(1)	(4)	(3)	(1)	(2)	(1)		(4)	(3)	(1)
												A					B	A				ア	カ	ア			
																						ハ		締			
																						ケ		結			
																						ン					
										(6)							C		(5)		(2)	イ	キ	イ			(2)
												B										キ		栄			
																						ノ		誉			
																						ウ					
																						ク		ウ			
																						ジ		驚			
																						ス					
																						イ		嘆			
																						ケ		エ			
																						タ		慎			
																						め					
																						る	める	み	み		
																						コ		オ			
																						メ		推			
																						グ					
																						る	る	す	す		